

2025-2026 年度  
国際ロータリーのテーマ

よいこと  
のために  
手を取りあおう

2025-2026 年度 RI 会長  
フランチェスコ・アレツツォ

第 2500 地区ガバナー  
佐渡 正幸(釧路北 RC)



THE ROTARY CLUB OF NAYORO  
DISTRICT 2500 ROTARY INTERNATIONAL

2025 ~ 2026

# 名寄ロータリークラブ会報

R.I. 第 2500 地区 創立 1959 年 5 月 5 日

2025.11.18(火)  
第 14 回例会  
通算第 3,175 回

第67代会長：長 久 和 敬  
副 会 長：白 木 剛  
幹 事：村 上 淳 哉  
編集責任者：公共イメージ委員会  
編 集 担 当：喜 多 美 仁

□例会日 毎週火曜日 12:30 ~ 13:30 (夜間例会 18:00)  
□例会場 グランドホテル藤花(名寄市西 5 条南 4 丁目)  
□事務所 名寄市東 1 条南 7 丁目 名寄商工会議所内  
TEL (01654) 3-3155 FAX (01654) 2-0571  
□ホームページ <http://cci.nayoro.biz/hp/nayororc/>

今月のテーマ **ロータリー財団月間・ポリオのない世界**

本日のプログラム **会員卓話(峯 恵 会員)**

次回の予告 **11月25日(火) 夜間例会**

## 前回例会の記録 2025.11.11(火) 第 3 回クラブフォーラム(ロータリー財団担当)

- 齊 唱 国歌、奉仕の理想
- 司 会 山田 康彦 SAA
- ビジター なし
- ゲ ス ト なし
- メ ニ ュ ー 大根と里芋のあんかけ
- 出 席  
会員 52 名 出席 32 名 出席率 62.7%
- 出席率訂正  
前週 62.7% 前々週 100%
- 欠 席 者 20 名  
上倉、家村、和泉、岡田、奥田、小野寺、川瀬、桑原、坂田、  
三瓶、中島、野田、東野、藤田、真鍋、村上(勝)、吉川、  
吉田(次)、吉田(肇)、和田 各会員
- 出席規定免除 1 名 内出席者 1 名  
長谷川(良)会員
- 誕 生 祝 い  
木賀(1日)、蓮宗(2日)、村上(淳)(18日)、  
東野(25日)、長谷川(良)(28日) 各会員



左から、木賀会員、蓮宗会員、村上(淳)幹事

- 結婚記念日のお祝い  
高橋(直)(3日)、大野(10日)、有田(24日)、  
村上(勝)(24日) 各会員

- 健康バッジ  
村上(淳)会員(2年)

村上(淳)幹事



- メークアップ報告  
9月30日 堀江会員(名寄 RAC)  
10月17日 遠藤、村上(淳) 各会員(地区大会)  
10月7日 蝦名、小田切、高橋(直)、播本、堀江、三津橋、  
水間 各会員(名寄 RAC)  
10月28日 蝦名、小田切、後藤、播本、堀江、水間、  
村上(淳)、藪中 各会員(名寄 RAC)

- ニコニコBOX  
◎ 喜多委員長、本日はクラブフォーラムありがとうございました 長久会長、白木副会長  
◎ クラブフォーラムありがとうございました 喜多委員長  
◎ 中 3 の孫娘がチアダンス全国 2 位になったので、北  
広島市スポーツ奨励賞を受賞しました 稲場会員  
◎ 中 2 の長女がソフトテニスの上川地区代表決定戦  
で優勝しました 有田会長エレクト  
◎ 国際天文学連合(IAU)により小惑星 35143 に  
Harimoto と命名していただきました 播本会員  
◎ 健康バッジ(2年) 村上(淳)幹事  
◎ 健康バッジ(8年/9月) 播本会員  
◎ 健康バッジ(3年/9月) 三津橋会員  
◎ ちょっと良いこと 長久会長、松前 LF、湯川委員長

- 会長挨拶及び報告 **長久 和敬 会長**  
今月は「ロータリー財団月間」と「ポリオのない世界」  
です。昔、坂田会員からお教えいただいたものに、ロー  
タリー財団には「三つの入口」と「三つの出口」あると  
おっしゃりました。  
「入り口」は、年次基金寄附、恒久基金寄附、使途指

定寄付金と、「出口」はポリオプラスプログラム、教育的プログラム、人道的補助金プログラムに割り当てることを教わりました。

しかし、随分と時間が経っているので変わった部分もあると思います。その辺りは今日のフォーラム担当の喜多委員長から、それとなく出てくると思います。

出口の補助金ついて少し話したいと思います。地区補助金(DG)かグローバル補助金(GG)を申請するには、「ロータリー財団補助金管理セミナー」に昔は誰か出席する必要があります。その年の地区大会地で開かれます。10年前ですが、午前中は「米山奨学財団」、午後から「ロータリー財団」のセミナーで、各2時間ほどレクチャーを、何故か坂田先生と受けた記憶があります。

現在は、午後のみリアルとズームのハイブリット方式になりました。例えの話として、もしクラブが地区補助金を申請する場合は、補助金管理セミナーに資格者が出席し、2月末までにMOU(参加資格認定・覚書)を、今年度会長、次年度会長の連名の自署をします。その前、事業計画書・見積書を規定の申請書等(仮申請)に記入し、その後(本申請)に、3月半～4月半に申請します。審査結果が通知され、当各年度内に事業を実施し、終了後28日以内に報告書を提出し、クラブが5年間原本資料を管理する。でした、かしら?あら大変ですネ。

そして100%の地区補助金はあり得ず、クラブからの支出が伴います。ある程度、クラブの資金と3年前からの準備プランニングが必須条件です。

この地区補助金は、クラブの周年事業には核当りませんし、それ以外にも制約のある補助金ですが、思うところがあれば地域社会に還元できる奉仕事業になるのではないのでしょうか。

第二分区では美深RCが様々な事業を継続的に行っています。余り話過ぎると喜多委員長に迷惑が掛かりますので、進化途中の会長挨拶とします。

## ■幹事報告 村上 淳哉 幹事

- 11月は「ロータリー財団月間」並びに「ポリオのない世界」です。
- 今月中に奨学金が該当する生徒さんへ奨学金をお渡しして参ります。日時が決まりしだい、追って皆様にご報告させていただきます。
- 国際ソロプチミスト名寄より、映画「ゴットマザー コシノアヤコの生涯」のチケットを5枚購入しました。先着順で、必要な方は私までお知らせください。
- 本日、例会終了後「指名委員会」を開催します。該当させる方は13時30分より「末広」で行います。
- 今後の日程について  
11月18日(火) 峯会員による「会員卓話」  
11月25日(火) 17時15分「理事・役員会」  
18時 「夜間例会」

## ■第3回クラブフォーラム(ロータリー財団担当) ロータリー財団委員会 喜多 美仁 委員長



## ■委員会・その他報告

### 親睦活動委員会 湯川 孝一 委員長

12月9日(火)18時からの「年次総会」終了後、「クリスマス家族会」を開催します。

事務局から出欠確認のご案内をさせて頂いております。ご返信がまだの方は回答をよろしくお願い致します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

### 国際ロータリー第2500 地区 2025-2026 年度 ロータリー財団 補助金管理セミナー

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日程 2025年11月9日(日)</li> <li>・ 時間 13:00~15:00</li> <li>・ 場所 釧路プリンスホテル2階</li> </ul> <p>※参加は必須です このセミナーに参加しないと地区補助金を使うことはできません。 財団委員長、会長、会長エレクト、幹事、次年度幹事 辺りの方が出席</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 13:10 PHSについて 細川吉博ロータリー財団委員長</li> <li>・ 13:20 PPSについて 平澤利秀ポリオ・プラス小委員長</li> <li>・ 13:25 VTについて 山北正美VTチームリーダー</li> <li>・ 13:30 グローバル補助金について 荒井剛グローバル補助金チームリーダー</li> <li>・ 13:45 グローバル補助金事業事例紹介 音更ロータリークラブ長屋正宏君</li> <li>・ 14:05 地区補助金について 渡部徳章地区補助金チームメンバー</li> <li>・ 14:25 地区補助金事業事例紹介 釧路ロータリークラブ 木下正明</li> </ul>
--	---

### 地域社会調査の重要性

- ・ 地域社会の状況をより良く理解できる
- ・ 十分な情報に基づいて決定を行い、優先すべき奉仕を見極める
- ・ 地域社会との信頼関係を築ける
- ・ 最初から地域住民の参加を促進できる
- ・ 持続可能性を念頭に置いてプロジェクトを立案できる

### 地域社会調査の手法

- ・ 住民会合
- ・ アンケート調査
- ・ インタビュー
- ・ フォーカスグループ(座談会)
- ・ 地域リソース調査
- ・ マッピング調査

### 地域社会調査のヒント

- ・ 新しいアイデアや意見に耳を傾ける
- ・ 普段は疎外されているグループの人びとを含める
- ・ 特定のプロジェクトを約束しない
- ・ 地元クラブが関与する
- ・ データ収集方法を確立する
- ・ 協力して学びあう

## ロータリーカードの利用

ロータリー活動以外でも  
日々の生活でご利用  
いただけます

- ・ 買い物
- ・ ガソリン代・駐車料金
- ・ ETC利用料金
- ・ Amazon/楽天などのオンラインショッピング
- ・ 自動車税（都道府県により可能）
- ・ 通院、薬代（カード支払い可能な病院・薬局）
- ・ 行政手続き（区役所等）への支払い
- ・ その他



9



2025-2026年度  
国際ロータリー第2500地区

## 地区補助金

2025年 11月 9日(日)  
ロータリー財団セミナー

地区補助金チーム リーダー本間公三

-1-

## ロータリー財団とは

世界で良いことをしよう  
というスローガンのもと、  
世界中で支援を必要  
としている方々の  
ために皆様の  
善意のご寄付が  
使われています



-2-

## 地区補助金の使途

地区補助金は、主に下記の項目に充当

### 奉仕プロジェクト

(奉仕並びに寄贈事業など)

### 奨学金

(入進学の子どもに奨学金を給付)

### 職業研修

(パートナー地区との親善と平和の推進)



-3-

## 地区補助金を活用した事業の申請例

### 奉仕事業

ロータリーが幅広く周知され、公共性イメージが向上し、  
地域や社会などに継続的な何らかのメリットが生まれたり、  
生産性が高まったりすることが期待される事業

※ 地区補助金ガイドブック6ページに奉仕事業の実施例を  
掲載していますのでご確認ください

※ 最大で50万円を配分

-5-

## 地区補助金を活用した事業の申請例

### 奉仕事業

子どもたちへの学習支援

文化の体験を行う

植樹や育樹を行う

公園の維持整備や管理

スポーツ教室の開催

教育講演会

など

-6-

## 地区補助金を活用した事業の申請例

### 寄贈事業

物品（教材・道具・機器類など）を寄贈したり、  
部品や部材を調達して設置や取付を行う事業  
(建造物や造作物と判断されるものも含まれますが、  
学校建設などは取扱いが区別されます)

※ 地区補助金ガイドブック8ページに寄贈事業の実施例を  
掲載していますのでご確認ください

※ 最大で30万円が配分

-8-

## 地区補助金を活用した事業の申請例

### 寄贈事業

教材やスポーツ用品

(図書・専門書・茶道具・野球用品ほか)

建造物や造作物

(物置・イベント用テント・モニュメントほか)

物品・機器・機械類

(車椅子・憲章銘盤・デジタルサイネージほか)

-9-

## 本年度の地区補助金申請状況

第1分区	1件	寄贈事業	
第2分区	1件	奉仕事業	
第3分区	6件	奉仕5件、寄贈1件	
第4分区	2件	寄贈事業	
第5分区	2件	奉仕事業	
第6分区	6件	奉仕事業	
第7分区	4件	奉仕事業、第8分区は申請なし	
地区	2件		合計 24件

本年の支給額 \$67,823 (約9,766,512円)

※日本円への換算はロータリーレートに準じます(上記の換算額は6月の144円/1\$)

-11-

## 奉仕・寄贈事業について

寄贈事業では、対象物にロータリーロゴや寄贈クラブ名、四つのテスト（以下「ロータリー情報」という）をつけることが必要です。ロータリー情報のプレート、看板、彫込、刻印、焼印、シールなどは対象物の耐用年数と同等の耐久性があることが必要です。

-12-

## 申請時の地区の規制事項

1つのクラブで年度内に申請できるのは1事業のみ

継続事業の申請は連続3年まで

3年継続事業後の類似事業は不承認の場合あり

同一クラブや他クラブとの合同事業での3年超過もしくは3回以上の断続類似事業申請は不承認の場合あり

-14-

## 申請時の地区の規制事項

財団の承認後にクラブ等の都合により実施できなかった継続類似事業の回数は1回としてカウントします

危機管理の規制事項により行事・レクレーション等の事業を行う場合には、レクレーション保険に加入する

青少年を含む事業の開催時には、必ず地区危機管理委員会の助言を受けてから事業計画を提出すること

-15-

## MOU記入の注意事項

貴クラブ名 \_\_\_\_\_ ロータリークラブ/ローターアクトクラブを代表し、下記署名人は、2026-2027ローター年、この覚書(MOU)に記載されたすべての条件と要件に従い、これらの要件に関してクラブの方針や手続に変更や修正があった場合には、国際ローター年第2500地区に通知するとともに同意する

実施年度		クラブ会長	実施年度		クラブ会長エレクト
就任年度	2026-2027年度	会長予定者	就任年度	2027-2028年度	会長予定者
フリガナ	氏名のフリガナ		フリガナ	氏名のフリガナ	
署名	氏名(自署)(姓のみや略名は不可)		署名	氏名(自署)(姓のみや略名は不可)	
日付	(西暦) 年 月 日		日付	(西暦) 年 月 日	

原本を2026年3月末までに実施年度ガバナー事務所へご提出ください

-16-

## 申請書記載の注意事項

予算 ※ ロータリアンが関連する企業等での見積書の発行や請求・支払は行なえません  
 ※ 地区補助金の希望金額は、必ずご記載ください  
 ※ 予算・決算は、別紙エクセルの様式を活用してご記入願います  
 総予算額のみここに記載ください⇒ 総予算 1,234,500円

その他 事業開催の際には、新聞などのメディアを介して周知し、ロータークラブ主催であることがわかるように周知をお願いします。  
 また、様々な方法でローターの公共性イメージ向上につなげていただけるようお願い申し上げます。

プロジェクト担当者(2名の担当を決めてください)  
 氏名 1) \_\_\_\_\_ クラブ役職 社会奉仕委員長(例)  
 電話 080-4523-6789(必ず携帯番号を記入願います) FAX 0123-45-7890  
 e-mail abc@dffgh.com

-17-

## ロータリー財団 補助金用語集

ロータリー財団の補助金制度は、世界中の地域社会で有意義な変化を生み出すための力強いツールです。しかし、初めてこの制度に触れる方にとっては、「DDF」や「グローバル補助金」といった専門用語が少し難しく感じられるかもしれません。

この用語集は、そうした専門用語をわかりやすく説明し、ロータリー財団が掲げる「世界で良いことをしよう(Doing Good in the World)」という活動への理解を深めるための一歩となるガイドです。ロータリー財団の仕組みを学び、奉仕活動の可能性を広げていきましょう。

## ロータリー財団の補助金：主な種類

ロータリー財団は、活動の規模や目的に応じて、いくつかの種類の補助金を提供しています。ここでは、特にロータリアンにとって身近な二つの主要な補助金を紹介します。

### 地区補助金

身近で活用しやすい、地域に根ざした活動のための補助金です。  
 ・ 小規模で短期的活動(通常1年以内)を支援  
 ・ 地元地域または海外でのプロジェクトを利用可能  
 ・ 3年前の年次基金寄付がDDFとして地区に還元

### グローバル補助金

より大規模で、持続可能な成果を目指す国際的なプロジェクトのための補助金です。  
 ・ 最低3万3千ドル以上の大規模プロジェクト  
 ・ 海外パートナー(ロータークラブ)との協力が必要  
 ・ DDFに対しWFから80%のマッチング資金

上記二つ以外にも、災害救済補助金や大規模プログラム補助金など、特定の目的のために設けられた補助金があります。これらの補助金は、会員からどのような寄付によって支えられているのかを、次のセクションで見てください。

## 補助金を支える仕組み：寄付と資金の流れ

ロータリー財団の補助金は、すべて世界中のロータリアンからの自発的な寄付によって成立しています。その寄付がどのように集められ、補助金として配分されるのか、その仕組みを解説します。

1	寄付と運用 会員は「年次基金」に寄付をします。集まった寄付金は、ロータリー財団によって年間、専門的に運用されます。この運用期間を設けることで、寄付された元金がプロの手で運用されていき、補助金として使える資金総額を最大化する仕組みになっています。
2	分配 3年後、運用益を含む元本の約半分が「地区財団活動資金(DDF)」として各地区に配られ、残りの半分が「国際財団活動資金(WF)」となります。
3	活用 DDFは各地区で地区補助金やグローバル補助金の原資として使われます。一方、WFは主にグローバル補助金のマッチング資金として、世界中の大規模プロジェクトを支援するために使われます。

### 国際財団活動資金(WF)

WF(World Fund)は、世界中の地区からの寄付の半分が集まった、まさに「世界のための資金」です。その最も重要な役割は、各地区がグローバル補助金のために拠出するDDFに対して、80%のマッチング(上乗せ)を行うことです。このマッチングにより、世界中で大規模な人道支援プロジェクトが実現可能となっています。

### 地区財団活動資金(DDF)

DDF(District Designated Fund)は、文字通り「地区が使い道を決定できる資金」です。3年前に自分たちの地区から拠出された寄付が、3年後に地区へと還元されるもので、地区の奉仕活動にとって極めて重要な資金源となります。  
**DDFの200%配分例：**  
 ・ 地区補助金：約5割  
 ・ グローバル補助金：約2割  
 ・ ポリオプラス：約3割

## 寄付に参加する：主なプログラム

ロータリー財団の活動を支えるため、会員が参加できる寄付プログラムがいくつか用意されています。

<p><b>① ポール・ハリス・ソサエティ(PHS)</b>  <b>約款：</b>毎年1000ドルをロータリー財団の「年次基金」に寄付することを約束する会員の集まりです。  <b>特徴：</b>PHS会員による寄付は、シニアシステムを通じて3年後にDDFとして地区の補助金活動に直接還元されます。地区の財団活動によって安定かつ持続可能な基礎となり、詳細な奉仕活動を支える大きな力となります。</p>	<p><b>② ポリオプラス・ソサエティ(PPS)</b>  <b>約款：</b>ポリオが完全に根絶されるまで、毎年100ドルを「ポリオプラス」に寄付することを約束する会員の集まりです。  <b>特徴：</b>この寄付に対しては、ビル&amp;メリンダ・ゲイツ財団から20%の上乗せがあります。つまり、100ドルの寄付が300ドル分の価値となり、ポリオ根絶活動を強力に後押しします。</p>	<p><b>③ ロータリーカード</b>  <b>仕組み：</b>日々の買い物を通じて、手軽に社会貢献ができる仕組みです。ロータリーカード(クレジットカード)の利用金額の0.5%を、自動的にポリオプラスに寄付されます。意識することなく、継続的な支援が可能です。</p>
--	---	--

寄付によって集まった資金は、補助金として様々な奉仕活動に活用されます。その中から特徴的なプログラムを一つ紹介します。

## 補助金を活用した専門的プログラム

補助金は、単なる資金援助だけでなく、専門的な知識やスキルを交換するプログラムにも活用されます。



**VTT(職業研修チーム)**  
 Vocational Training Team

**概要：**特定の職業分野の専門家から構成されたチームが、海外のカウンターパートとの間で相互に訪問し、スキルや知識を教えたり、学んだりするプログラムです。多岐にわたる分野で実施されます。例えば、タイへ歯科医療チームを派遣したり、マレーシアから若手職人チームを受け入れて研修を行ったような活動です。

**歴史**  
 かつて実施されていた「研究グループ交換(GSE)」プログラムが、より専門性を重視する形で発展したものです。

**資金**  
 プロジェクトの規模や内容に応じて、「地区補助金」または「グローバル補助金」を活用して実施することができます。

## 補助金申請の重要原則

補助金は、ロータリーの理念に沿って、効果的かつ倫理的に使われる必要があります。申請するすべてのクラブが遵守すべき重要な原則を紹介します。

### 7つの重点分野

ロータリーの活動の効果を最大化し、世界で最も喫緊の課題にリソースを集中させるため、財団は活動を7つの重点分野に沿って行うことを定めています。補助金を使って実施するプロジェクトは、以下のいずれかに貢献するものでなければなりません。

- ① 平和の推進
- ② 母子の健康
- ③ 環境の保護
- ④ 疾病との闘い
- ⑤ 教育の支援
- ⑥ 水と衛生
- ⑦ 地域経済の発展

### 持続可能性

ロータリーが最も重視する考え方の一つです。これは、単に物品を寄付したり施設を建設したりする「やりっぱなし」の支援ではありません。  
**「活動の成果が持続して維持され、将来的には地域社会が自らで問題を解決していけるようになる」**ことを目指すプログラムです。例えば、寄付を頼るだけでなく、管理方法を地域の人々に教えるといった活動がこれにあたります。

### 資格要件(セミナー参加とMOU)

補助金を申請するためには、クラブが以下の資格要件を満たす必要があります。  
 ・ 地区が毎年開催する「**補助金管理セミナー**」にクラブの代表者が出席すること  
 ・ 財団資金の適切な管理を約束する「**クラブの寛大書(MOU)**」に、クラブのリーダーが同意すること

### 利益相反の禁止

補助金事業の公平性と透明性を保つための厳格なルールです。  
 補助金事業に関わるロータリアンやその関係者は、その事業から個人的な金銭的利益を得たり、ビジネス上の優遇を受けたりしてはならないと定められています。これは、奉仕の精神を重んじるロータリーの基本原則です。